

栗原委員（公明党）

令和3年3月11日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）フリースクールとの連携強化について

県教育委員会をはじめ市町教育委員会や学校は、不登校児童・生徒を受け入れ、成長や自立を促す役割を果たしているフリースクールなど民間施設との連携を更に強化し、子供達の人間的な成長や学習活動をサポートしていくべきだと考えるが、教育長の所見を伺う。

また、フリースクールなど民間施設は軒並み厳しい財政状況で運営しているが、大事な役割を担うフリースクールに対する財政支援も検討が必要ではないか、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

不登校等児童生徒への支援につきましては、学校に登校するという結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指せるよう、個々の状況に応じて、様々な関係機関と連携して、多様な学びの選択肢を提供することが重要であると考えております。

このため、県教育委員会におきましては、「学びのセーフティネット構築事業」の一環として、不登校等児童生徒を支援している民間団体等との連携を検討するため、昨年度、当該団体に対するアンケート調査を行いました。

また、この2月には、不登校等児童生徒を支援している民間団体等と県教育委員会との情報共有会を開催したところでございます。

その会におきましては、県教育委員会が不登校等児童生徒への支援として、学習支援やソーシャルスキルトレーニングなどを行うスペシャルサポートチームの好事例を紹介するとともに、民間団体等からも、不登校等児童生徒に対する支援状況を説明いただくなど、相互交流を深めたところでございます。

県教育委員会といたしましては、こうした取組を踏まえつつ、学びのセーフティネットの観点から、全ての子供たちが健やかに夢を育み、その能力と可能性を最大限に高めることができるよう、様々な支援について、幅広く検討してまいりたいと考えております。